

1日目 9月16日

会 場: 県立浜山球場

第3試合		～2回戦～（延長10回タイブレーク）																		
T E A M		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	R	H	E	
松江南		0	0	1	0	0	2	1	0	0	2						6	9	1	
出 雲		4	0	0	0	0	0	0	0	0	0						4	10	1	
(投手―捕手)																				
・ (松)		梶谷→松本→鍛冶 ― 早富																		
・ (出)		鞍嶋 ― 小村																		
(長 打)		(二塁打)						(三塁打)						(本塁打)						
・ (松)		山本、庄司												山本						
・ (出)		小村						山本												
(審判)〔球審〕		清水洋				〔一塁〕 本田				〔二塁〕 大谷				〔三塁〕 陶山						
(チーム成績)																				
チーム	打	安	点	二	三	本	振	四	犠	盗	残	併	守備	失	暴	ボ	逸	打妨		
(松)	42	9	5	2	0	1	8	4	4	0		1		1	0	0	0	0		
(出)	44	10	4	1	1	0	3	4	2	2		0		1	0	0	0	0		

「松江南、4点差を跳ね返す！」

上位進出が充分に考えられる公立の両校の対戦となった。試合は初回に大きく動く。1回裏、出雲は1死満塁と好機を作ると、三原が押し出し四球を選び先制点を挙げる。更に杉原、田中の適時打で一挙4得点を挙げ、松江南先発の梶谷を打ち崩した。

松江南は2番手の松本が再三走者は出しながら粘りの投球を見せると、3回表に山本の適時2塁打で1点を返す。出雲は4回裏に山本の3塁打から好機を得たが、古田の好守備に阻まれて得点できない。すると、6回表に早富の適時打と松本の犠飛で松江南が1点差に迫る。ここで松江南はエース鍛冶を投入して流れを引き寄せると、直後の7回表に山本が値千金の本塁打を放ち同点に追いついた。

出雲は9回裏に相手失策から走者を得たが、痛恨の牽制死を喫しタイブレークに突入する。延長10回表に松江南はエースで好投を続ける鍛冶が勝ち越し適時打を放つと、併殺の間に更に1点を追加する。追いつきたい出雲であったが、先頭打者がスリーバント失敗で流れを潰すと、2死満塁まで攻めたが田中が二塁手へのゴロに倒れ試合終了となった。

[illegible][illegible][illegible][illegible]